練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成３０年度　第４号　平成３０年７月１８日発行

日本人の精神に流れるもの

校　長　　古　山　真　樹

４年に一度のサッカー・ワールドカップもフランスの優勝で幕を閉じましたが、日本の予想外？の健闘には驚かされました。しかしながら日本が最も話題になったのは、日本の応援団のマナーの良さでした。勝っても負けても試合後、スタンドのゴミ拾いをして引き揚げる姿は世界から賞賛を浴びました。このスタンドのゴミ拾いはワールドカップに初出場した１９９８年から続いていて、これまでも度々世界から讃えられています。さらに今回は敗れたベルギー戦後の選手のロッカールームの写真が公表されました。代表チームがロッカールームを綺麗に片付けて、ロシア語で「スパシーバ（ありがとう）」のメッセージを添えて去りました。これも世界が驚きました。今回の日本人の行動に対する各国での報道をいくつか紹介しましょう。

「日本人サポーターは涙をぬぐいながらスタンド清掃に勤しんだ」さらに「普通これだけショッキングな敗北(ベルギー戦)を喫すれば、ベンチは壊され、ボトルは床に散乱している。しかし彼らは全くヒステリーを起こすことなく去った」「(敗戦の)失意の底にありながらもこのような振る舞いができるのは、彼らに品位、礼儀正しさ、謙虚さ、そして感謝の気持ちが真にあるからだ。これが日本の伝統だ。」「日本は勝負には敗れたが、わたしたちの心から尊敬を勝ち取った」「日本人に敬意を。日本は文化も教育も最高だ」

これらのコメントは、東日本大震災後の日本人たちの整然とした秩序ある行動が世界を驚かせたことと通じるものがあります。一方で「チケット代には清掃代も含まれているのに」「清掃員たちの仕事を奪う行為だ」という非難めいたコメントをする人たちもいますが、汚したまま知らんぷりして帰るなどということは日本人にはうしろめたくてできないのです。相手(今回は開催国ロシアに対して)への心遣い、気配りが礼儀正しさ、礼節となって誇りある行動となったのです。いざという時、誰もがいつでもこのような行為がとれると信じます。それは、日本人が長い年月をかけて自然と培ってきた精神だと確信するからです。

今月の一句　　青蛙おのれもペンキ塗りたてか　　芥川龍之介

どんな情景を思い浮かべましたか。おもしろい俳句ですよね。先生はこんな光景を想像しました。

梅雨時の公園、ちょうどベンチは「ペンキ塗りたて」の表示がしてあります。ペンキ塗り立てですからベンチはつやつやと光沢を含んだ感じ。ちょうどその近くに青蛙が一匹。青蛙はいつでも水気を含んでつやつやとしています。それを見て作者は、「おまえもペンキ塗り立てなのか」と洒落てみたわけです。

同じようなユーモアを含んだ俳句に「叩かれて昼の蚊を吐く木魚かな」という俳句があります。おもしろいですね。お坊さんがお経に合わせて木魚を叩くと驚いた蚊が木魚の中から出てきたという情景です。木魚を擬人化した表現がうまいですね。これは夏目漱石の俳句です。このように本来小説家や詩人である人が作った俳句を文人俳句と言います。漱石は大学時代に近代俳句の改革者となる正岡子規と出会い、俳句の分野では正岡子規を師と仰ぎ、漱石という雅号(ペンネーム)も子規から譲り受けています。漱石の独特のユーモアは「吾輩は猫である」「坊っちゃん」にも表れていますが、子規は「奇想天外の句多し」と漱石の俳句を評しています。また芥川龍之介は漱石を師として尊敬していました。日本の文壇を彩るこの３人は独特のユーモアで結ばれていたようですね。

スダジイの会　ご協力ありがとうございます。

7月１４日（土）炎天下の中の草むしり

７月１４日は、１回目の「草むしり」でした。気温は日陰で３５度、日なたの体感温度は、４２度を越えていたと思います。厳しい暑さでしたが、多くの方にご参加いただき、長く伸びた雑草をすっかり取り除いていただきました。本当にありがとうございました。

今年度から試行的にスタートした「スダジイの会」。いくつかの係が実際に活動を開始しました。試行ということもあり、当初は調整が難航しましたが、本部の方や本部協力係の方が何度も調整をしてくださり、おかげさまで各係の活動を開始することができました。また、快く各係の活動にご協力いただいております保護者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。これまで、図書支援・運動会・集金・花壇・水やり・セーフティ教室・草むしり等の係がスタートしています。今後、給食試食会・広報・卒業記念品・防犯などの係もいよいよ始まります。よろしくお願いいたします。

花壇係のみなさんに植えていただいた花が水やり当番の方の協力もあり、正門に今もたくさん花を咲かせています！カラー写真はホームページで！

２年生　道徳　障害のある人とのコミュニケーションの取り方について

本校の学区から都立大泉特別支援学校に通っている生徒がいます。地域で共に生きる仲間です。そして本校と間接交流を行っています。今回、大泉特別支援学校から小久保先生をお招きし「共生社会とは」「平等とは」「障害があるということは」について考えました。様々な人が共に生きるよさ、そしてどのような配慮が必要なのか、深く考えるきっかけになったと思います。世界中の誰もが幸せに生きる権利があることを決して忘れずにいてください。

猛暑の中、開進一小の中学校訪問

７月１７日に開進一小６年生のみなさんが、本校を訪問してくれました。とても暑い中でしたが、熱心に校舎内を見学し、紹介ビデオも鑑賞してくれました。ありがとうございました。

南校舎を見学する開一小のみなさん

空中廊下から北校舎へ向かう様子

大規模改修工事　Ⅱ期の工期を訂正いたします

Ⅰ期　平成３０年７月２１日　～　平成３０年１０月下旬
北校舎外壁および屋上防水工事

➡Ⅱ期　平成３０年９月１日　～　平成３１年２月末まで
格技棟外壁および屋上防水工事／プール改修工事

Ⅲ期　平成３１年７月１日　～　平成３１年１０月中旬
南校舎外壁および屋上防水工事

◇ご理解・ご協力をお願い申し上げます◇